

# 建具の耐風圧性試験



一般財団法人

日本建築総合試験所

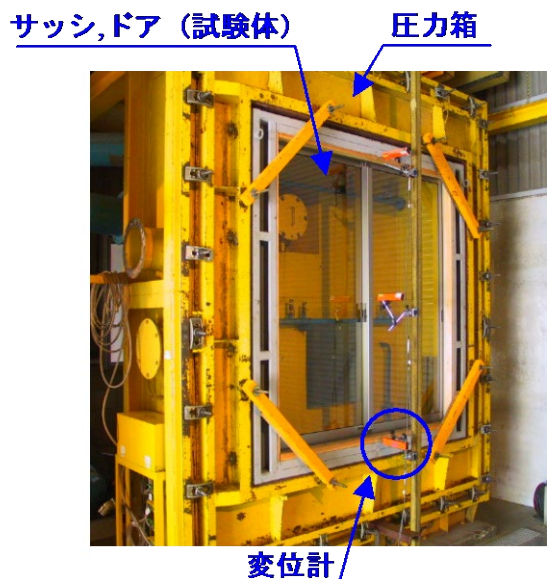
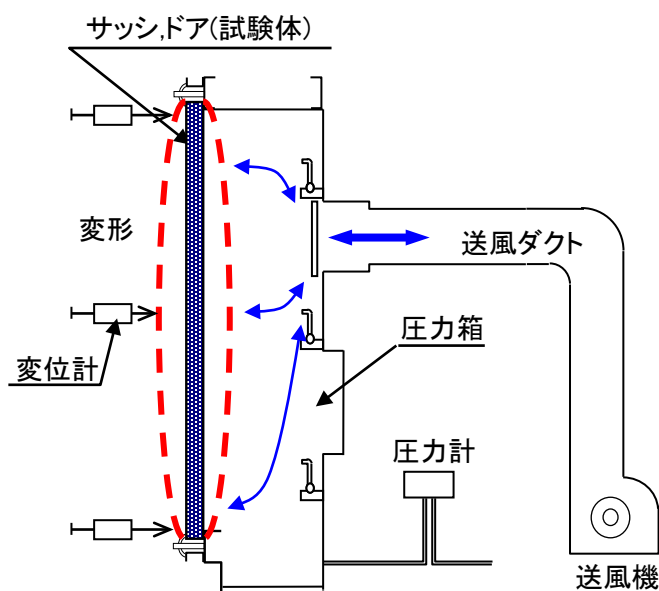
建具の耐風圧性試験は、強風時のサッシやドアセットの変形や破壊の有無を確認します。

## 建具の耐風圧性とは

建具の耐風圧性とは、サッシやドアセットが規定の風圧力に耐え得る性能を表すものです。台風などの強風に相当する圧力をサッシやドアセットに与え、損傷やドアの開閉の障害を調べます。

## 耐風圧性試験

下図のように試験体を圧力箱に取付けて、送風機を用いて風圧力を加えます。加える圧力は JIS A 4706, JIS A 4702 に規定されている各等級の最高圧力(下表)の 1/4 ステップごとに加え、試験体各部の変形量を測定します。また、圧力を取り去った後の建具の残留変形を測定した後、開閉の異常の有無を確認します。



試験体に変位計を設置した状況

耐風圧性には、JIS A 4706, JIS A 4702 で以下のように等級が決められています。

等級	S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	S-6	S-7
最高圧力 (Pa)	800	1200	1600	2000	2400	2800	3600

- 【関連規格】 JIS A 4706 「サッシ」  
JIS A 4702 「ドアセット」  
JIS A 1515 「建具の耐風圧試験方法」

【試験体】 サッシ、ドアセット

【試験体寸法】 W2.0m×H2.0m ~ W4.1m×H7.1m (鋼製枠の外寸法)